

ニューヨーク補習授業校

補習校だより

平成21年12月号
12/19/09発行
56 Harrison Street #204
New Rochelle NY 10801
914 (636) 3770

校長室の窓から

校長 中村 衛

いよいよ冬本番。NY マンハッタンにも恒例のクリスマスツリーが設置されました。年末の最大行事の準備ができたようです。

さて、先月に、次年度の本校への入園入学説明会を開催いたしましたところ、沢山の保護者の方にお集まりいただきました。ありがとうございました。

帰国に猶予があるなら、是非、補習授業校の卒業を目ざして、入学していただきたいと思います。卒業時には日本の新聞を読める子ども、将来、世界の架け橋となるような子どもになればと願っております。

そのときの説明会で少し話をさせていただきましたが、本校は、アメリカで生活してきた子どもたちが日本に帰国したときに、困らない学力や学校生活を送れるようにという願いで作られた学校です。そのため日本の学習指導要領に準拠した学習や日本の伝統文化を大切にした取り組みを進めているわけですが、普段、現地校で学習している子どもたちにとって、土曜日だけ本校に通い、日本の学習内容とほぼ同じことを続けていくことは、並大抵な事ではありません。日本語を維持するだけでもなかなか大変な中、3倍速、4倍速の新たな学習についていくには、かなりの努力が必要です。本人ばかりでなく、保護者の方々にも、どんな子どもに我が子を育てたいのかを、今一度考えていただき、子どもと同じくらいの努力をしていただくことは、必須条件です。

子どもが本校の学習内容をどこまで、理解しているのか、本読みはできるのか、漢字は使えるのか、宿題はきちんとできているか、提出しているか、学校を休ませないことに保護者としてどこまで考えているか、家庭での言語が英語になっていないか、国語力を高めるために、通信教育や塾の利用も補習授業校と併用して取り組めるかなど、保護者の家庭での支えが必要であると思います。我が子への教育には、保護者としてもかなりの努力がいることは当然のことで、経済的な援助、時間的な援助、精神的な援助が要るものなのです。

そこで、先日、海外子女教育振興財団の植野教育相談員が家庭でできる日本語支援として次のような事が「海外子女教育」の月刊誌に書かれていましたので紹介します。

日本で暮らしている場合、一般的に、小学校に入るまでに日本語の話しことばの基礎ができるようになり、小学校の低学年では学習に必要な読み書きの基礎ができるようになると言われています。その後、小学校中学年以降では年齢相応の話し言葉と学習言語を発達させ、次第に高度の思考力、判断力、表現力を身につけていきます。

海外で日本語の力を伸ばすには、家庭で親と子の話し合いや交流を心がけ、親と子の絆をしっかりと日本語で築くことが大切です。

では、具体的にどのようなことをやっていけばよいのでしょうか。以下簡単にまとめてみました。

①読み聞かせ

読み聞かせは親ができるとても大切な支援の一つで、子どもの考える力を伸ばし、日本語の表現力を豊かにします。さらに、子どもは聞くことを通して集中力を養います。

肝心なのは、読書を楽しいものと体感させ、子どもが小学校の高学年になったときに自ら進んで本を読む習慣を身につけさせることです。

②音読

子どもに音読をさせ、よい聞き役になることは海外で母語を育てるための親の役割の一つです。音読では文字を拾って音にするだけではなく、文章の意味を考えながら読んでいくことが大切で、その力は抽象的な考え方が多く導入される四年生以降の学習の手助けになります。音読するものは一般の読み物に限らず、教科書でも構いません。

③具体的に話す

折り紙をする場合「ここをこうやって、それでこうして」と言いながら折って見せるよりも「親指と人差し指を使って、この線にそって四つに折って」というように、親子の会話では普段使わないような言葉も使い、語彙を増やしていく努力が必要です。

④いろいろな場面での日本語体験を増やす

ことばは場面や話す相手によって違ってくるため、家庭や補習授業校では使わないような日本語に触れる機会を増やします。テレビやインターネットを利用するとよいでしょう。

是非参考にいただき、来年の1月にはより多くの方に申し込みいただき、また在籍の保護者の方にはより多くの方に進級いただけることを願っております。

よいお年をお過ごしください。

2009年度 作文コンクール受賞者

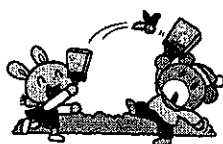
2009年度作文コンクールは、ウェストチェスター地区、ロングアイランド地区合わせて366点にもものぼる応募がありました。力作が多く、入選・佳作作品を選出するのにたいへん苦勞しました。ここに、各地区校の受賞者を紹介します。

また、入選した皆さんの作品は「入選作品集」として文集にまとめ、各地区校に置く計画をしています。たくさんの皆さんに読んで頂きたいと思います。



【L I 校】

- (1年) 吉田 禅 戸田 遥
 (2年) 山口 茜 我妻美杏 島 遼平
 (3年) 遠藤大来 高橋悠真 吉藤杏菜
 (4年) 藤木世音 ウィリアムス ジェイド
 (5年) 窪田七海 (6年) フィッシュマン武蔵
 (中1) ソーリアル恵史 (中2) 宮崎 翔
 (中3) 鈴木里奈 (高等部) 加納あゆみ 多賀夕夏



【WT校】

- (1年) 細川寛子 渡部有介 甘利稜馬 野中文司 間宮健太
 (2年) 相田直希 内海恵人 野澤真奈 阿部杏奈 加藤豪介 桑島侑己
 (3年) 細野露可 山本純也 久米大雅 笠松真優
 (4年) 榎並史佳 鴨井幸音 岸田侑果南 セルビー颯駆
 (5年) 山本哲也 加藤千晶 山本葉月
 (6年) 山元夏季 竹中大輝 酒井隆桂

【A校】

- (中1) 進藤りさ 神谷映里 (中2) 新家理沙
 (中3) 林田芽英 (高等部) 小野末紗子



【L I 校】

- (2年) 榎本郷佑 宮内 天 山口百音
 (3年) 高木莉佳 小倉映海 ソーリアル明菜 アナビアン マックスウェル
 (4年) 北川澤那 豊田真琴 藤森 空
 (5年) 岩切那瑠彦 日向 悠
 (中1) 若林有子 古庄カンナ
 (中3) 副島万里子

【WT校】

- (1年) 高志成海 小竹ひかる 熊迫紗文 神作 悠
 (2年) 江副陽花 後野 晶 鉄村沙央里 竹中彩葉 野村航大
 榎木彩七 大塚麟太郎 田中里都紀
 (3年) 宮崎竜太郎 木村友紀 古家 勢 渡邊龍之介 吉川舞香
 田中左季
 (4年) 小野元暉 米倉 航 阿部紘子 三橋愛美 白土絵梨
 藤野恵太

- (5年) 武富遼子 榎本大起 木田暁士
 (6年) 栗山由也 塩月優花 白土遥菜

【A校】

- (中1) 和田ひなの
 (中2) 安部望海 林田亜嵐 古賀百合亜
 (中3) 小野加晏子 ストムスキー将



LI校 中高等部「スピーチ大会」

12月5日に第13回中高等部スピーチ大会が実施されました。中等部1年から高等部2年までの代表の20名の生徒がそれぞれの思いを込めて、堂々と自分の主張を発表しました。入賞者は以下の通りです。

- 最優秀賞 加納あゆみ(高2)「後輩たちへ」
 優秀賞 木田達希(高2)「僕たち、私たち」、江川 舞(高1)「社会勉強」
 入賞 喜納智恵里(高2)、鈴木里奈(中3)、岩崎はるか(中3)
 江川 碧(高1)、副島万里子(中3)

今後の予定

授業日(回)	LI校	WT校	A校
12/19 (35)		幼児部もちつき	(冬祭り)
12/26	冬季休業日①		
1/2	冬季休業日②		
1/9 (36)	副教材配布	進級申込書回収	※主任会⑤
		入園入学受付① 書き初め授業①	書き初め大会
1/16 (37)	※卒業生担任者会議		
	入園入学受付① 中高書き初め大会	入園入学受付② 書き初め授業② 社会科授業⑥	
1/23 (38)	漢字検定		
	入園入学受付② 初等部書き初め大会	職員会議④	
1/30 (39)	節分行事		
	職員会議④	(雪対策時間)	百人一首大会

(※は先生方の打ち合わせ。」「社会科授業」は 4・5・6年の希望者対象です。

TEL: 914-636-3770

◎補習授業校事務所は、12月25日～1月4日(定休日を含む)の間、休みとなりますのでご了承下さい。

◎進級等申し込みの〆切は1月9日となっています。ご協力の程よろしくお願い致します。

◎来年度入園入学受付日、WT校とA校は1月9日と1月16日、LI校は1月16日と1月23日となっています。お間違いないようご確認下さい。